

## 論文

### A 欧文

A-a

- 1 . Umeda M,Kawano H,Endo Y,Takatani A,Koga T,Ichinose K,Nakamura H,Mukaino A,Higuchi O,Nakane S,Maeda T,Kawakami A: Intravenous cyclophosphamide treatment for systemic lupus erythematosus with severe autonomic disorders confirmed by head-up tilt table test: A case series.. *Modern Rheumatology Case Reports* 6(1): 47-51, 2022. doi: 10.1093/mrcr/rxab027. (IF: 0.8)
- 2 . Shimizu Y,Kawashiri S,Noguchi Y,Nakamichi S,Nagata Y,Hayashida N,Maeda T: Normal Anti-Thyroid Peroxidase Antibody (TPO-Ab) Titers and Active Arterial Wall Thickening among Euthyroid Individuals: A Prospective Study.. *Journal of Clinical Medicine* 11(3): 2022. doi: 10.3390/jcm11030521. (IF: 3.9)
- 3 . Shimizu Y,Kawashiri S,Noguchi Y,Nakamichi S,Nagata Y,Maeda T,Hayashida N: Effect of Subclinical Hypothyroidism on the Association between Hemoglobin A1c and Reduced Renal Function: A Prospective Study.. *Diagnostics (Basel, Switzerland)* 12(2): 2022. doi: 10.3390/diagnostics12020462. (IF: 3.6)
- 4 . Shimizu Y,Kawashiri S,Noguchi Y,Nakamichi S,Nagata Y,Hayashida N,Maeda T: Associations among Ratio of Free Triiodothyronine to Free Thyroxine, Chronic Kidney Disease, and Subclinical Hypothyroidism.. *Journal of Clinical Medicine* 11(5): 2022. doi: 10.3390/jcm11051269. (IF: 3.9)
- 5 . Shimizu Y,Arima K,Noguchi Y,Yamanashi H,Kawashiri S,Nobusue K,Nonaka F,Aoyagi K,Nagata Y,Maeda T: Vascular endothelial growth factor (VEGF) polymorphism rs3025039 and atherosclerosis among older with hypertension.. *Scientific Reports* 12(1): 5564, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-09486-1. (IF: 4.6)
- 6 . Shimizu Y,Kawashiri S,Nobusue K,Nonaka F,Tamai M,Honda Y,Yamanashi H,Nakamichi S,KiyamaM,Hayashida N,Nagata Y,Maeda T: Association between circulating CD34-positive cell count and height loss among older men.. *Scientific Reports* 12(1): 7175, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-11040-y. (IF: 4.6)
- 7 . Xu X,Mizukami S,Arima K,Morikawa K,Motoi M,Iwamoto N,Tomita Y,Uchiyama M,Honda Y,Tanaka N,Goto H,Hasegawa M,Sou Y,Tsujimoto R,Nishimura T,Kawashiri S,,Tamai M,Yamanashi H,,Abe Y,Origuchi T,Nagata Y,Kawakami A,Maeda T,Aoyagi K: Association of FTO genotype with obesity and bone health among community-dwelling adults; Goto Island study on bone health. *Acta Medica Nagasakiensia* 65(3): 2022. doi: 10.11343/amm.65.77.
- 8 . Shimizu Y,Yamanashi H,Kitamura M,Miyata J,Nonaka F,Nakamichi S,Saito T,Nagata Y,Maeda T: Tooth Loss and Carotid Intima-Media Thickness in Relation to Functional Atherosclerosis: A Cross-Sectional Study.. *Journal of Clinical Medicine* 11(14): 2022. doi: 10.3390/jcm11143993. (IF: 3.9)
- 9 . Miyata J,Eshak ES,Yoshioka T,Iso H: Movement of the superior mesenteric artery in patients with superior mesenteric artery syndrome: A case-reference study. *Clinical Anatomy* 35(7): 891-898, 2022. doi: 10.1002/ca.23885. (IF: 2.4)
- 10 . Shimizu Y,Yamanashi H,Miyata J,Takada M,Noguchi Y,Honda Y,Nonaka F,Nakamichi S,Nagata Y,Maeda T: VEGF Polymorphism rs3025039 and Human T-Cell Leukemia Virus 1 (HTLV-1) Infection among Older Japanese Individuals: A Cross-Sectional Study. *Bioengineering* 9(10): 527, 2022. doi: 10.3390/bioengineering9100527. (IF: 4.6)
- 11 . Yamanashi H,Akabame S,Miyata J,Honda Y,Nonaka F,Shimizu Y,Nakamichi S,Kawashiri S,Tamai M,Arima K,Kawakami A,Aoyagi K,Maeda T: Association between Epstein-Barr virus serological reactivation and psychological distress: a cross-sectional study of Japanese community-dwelling older adults.. *Aging* 14(undefined): 8258-8269, 2022. doi: 10.18632/aging.204345. (IF: 5.2)
- 12 . Shimizu Y,Kawashiri S,Noguchi Y,Nakamichi S,Nagata Y,Maeda T,Hayashida N: Height and Active Arterial Wall Thickening in Relation to Thyroid Cysts Status among Elderly Japanese: A Prospective Study. *Biology* 11(12): 1756, 2022. doi: 10.3390/biology11121756. (IF: 4.2)
- 13 . Shimizu Y,Yamanashi H,Honda Y,Nonaka F,Miyata J,Kawashiri S,Noguchi Y,Nakamichi S,Nagata Y,Maeda T: Low-Density Lipoprotein Cholesterol, Structural Atherosclerosis, and Functional Atherosclerosis in Older Japanese. *Nutrients* 15(1): 183, 2022. doi: 10.3390/nu15010183. (IF: 5.9)
- 14 . Shimizu Y,Yamanashi H,Kitamura M,Miyata J,Nonaka F,Nakamichi S,Saito T,Nagata Y,Maeda T: Association between periodontitis and chronic kidney disease by functional atherosclerosis status among older Japanese individuals: a cross-sectional study.. *Journal of Clinical Periodontology* 50(4): 430-439, 2022. doi: 10.1111/jcpe.13755. (IF: 6.7)

## B 邦文

### B-a

1. 世羅至子, 宮崎美咲, 本郷涼子, 塩竈由紀子, 溝田記子, 富永玲子, 山本広美, 鎌田昭江, 原田 薫, 畠山今日子, 牧瀬由佳, 山下理恵, 森 明子, 山口洋美, 杉本悠花, 四辻由紀, 野中文陽, 福島徹也, 桑原宏永, 山崎浩則, 藤田成裕, 阿比留教生: 長崎県での地域巡回型糖尿病療養指導士育成セミナー参加者の意識調査. 長崎医学会雑誌 97(1): 22-30, 2022.
2. 寺裏寛之, 井口清太郎, 前田隆浩, 小谷和彦: へき地医療におけるオンライン診療の実際. 日本糖尿病情報学会誌 20: 2022.

### B-b

1. 野中文陽, 川尻真也, 延末謙一, 永田康浩, 前田隆浩, 川上 純: 専門医過疎の解決を目指す次世代の関節リウマチ専門遠隔医療. ファルマシア 58(5): 440-444, 2022.
2. 川尻真也, 野中文陽: 【がんに対する新しい治療法と未来型医療】未来型医療の展望 AIを活用した医療の動向 Mixed Realityと人工知能の活用による次世代遠隔医療システム. 腫瘍内科 29(5): 603-606, 2022.
3. 宮田 潤, 川上 純, 前田隆浩: 長崎大学大学院 遠隔医療支援システムの構築 ~離島・へき地に医療を届ける仕組みづくり~. 月刊J-LIS 2022年7月号 特集: デジタル田園都市国家構想~地域課題解決に向けたデジタル実装の取り組み~: 2022.
4. 野中文陽, 川尻真也, 川上 純: 【ここまで進んだ仮想空間技術の医療応用】医療におけるバーチャルの到達点と可能性 Mixed Reality技術を応用した次世代オンライン遠隔医療システムが可能とするもの. 新医療 49(8): 52-55, 2022.
5. 宮田 潤, 前田隆浩: へき地・離島で命を, 地域を救う へき地・離島医療支援の実際 ICTを活用した遠隔診療などの現状・展望. 救急医学 46(10): 2022.

### B-e-1

1. 本多由起子, 山田貴恵子, 浦上明日香, 明石理恵, 久保琴絵, 近藤照美, 川上敏宏, 前田隆浩, 永田康浩: 離島で子育てする母親のメンタルヘルスと産後ケアニーズの関連. 日本疫学会学術総会講演集 32: 145, 2022.
2. 玉井慎美, 野中文陽, 川尻真也, 有馬和彦, 青柳 潔, 前田隆浩, 川上 純: 欧州リウマチ学会スコアによる関節リウマチ発症の予測 Nagasaki Island Study(NaIS). 日本疫学会学術総会講演集 32: 172, 2022.
3. 辻 良香, 玉井慎美, 古賀智裕, 野中文陽, 川尻真也, 藤井 博, 川野充弘, 前田隆浩, 川上 純: Nagasaki Island Study(NaIS)における健診受診者の血清IgG4値における性別と喫煙の影響. 日本内科学会雑誌 111(Suppl.): 186, 2022.
4. 高橋康太郎, 濱田航一郎, 赤羽目翔悟, 山内桃子, 山梨啓友, 中道聖子, 前田隆浩: 再発性多発性脳梗塞を伴うクリプトコッカス髄膜炎の1例. 日本病院総合診療医学会雑誌(Web) 18: 2022.
5. 清水悠路, 川尻真也, 山梨啓友, 木山昌彦, 林田直美, 永田康浩, 前田隆浩: 高齢男性におけるCD34陽性細胞数と身長低下の関係. 日本衛生学雑誌 77(Suppl.): S220, 2022.
6. 玉井慎美, 野中文陽, 川尻真也, 有馬和彦, 青柳 潔, 川上 純: 関節リウマチの発症予測の試み Nagasaki Island Study(NaIS). 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集 66回: 567, 2022.
7. 福田英輝, 川崎浩二, 五月女さき子, 川下由美子, 北村雅保, 岩崎理浩, 林田秀明, 古堅麗子, 前田隆浩, 齋藤俊行: 歯科健診結果からみた成人期の歯科口腔に関する指標の推移:五島研究. 口腔衛生学会雑誌 72: 2022.
8. 本林秀一朗, 永田康浩, 本多由起子, 大園恵梨子, 川尻真也, 前田隆浩: コロナ禍における医学生の講義と実習に関する意識調査. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 13回: SS1-2, 2022.
9. 鈴木綾佳, 濱田航一郎, 山梨啓友, 小笹宗一郎, 赤羽目翔悟, 高橋康太郎, 山内桃子, 梅田雅孝, 長浦由紀, 中道聖子, 石本裕士, 小笹 睦, 福岡順也, 前田隆浩: 意識障害,ぶどう膜炎の精査を機に診断に至った神経サルコイドーシスの一例. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 13回: O-28, 2022.
10. 金城謙太郎, 西連寺智子, 藤沼康樹, 前田隆浩, 本田宜久, 金井伸行, 大杉泰弘, 福田吉治: 地域包括ケアに関する大学医学部での教育. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 13回: O-73, 2022.
11. 花村衣咲, 野中文陽, 上条将史, 江頭清美, 川崎遥香, 大村美保, 世羅至子, 村瀬邦彦, 前田隆浩, 河手久弥: 高齢2型糖尿病患者のフレイルと食事及び運動介入の効果 都市部と離島地域の比較. 日本体質医学会雑誌 84(2): 140-141, 2022.

12. 前田隆浩：持続可能な地域医療を目指して～機能分化・連携と人材マネジメント～ 地域医療を支える人材育成について. 日本医療マネジメント学会雑誌 23(Suppl.): 131, 2022.
13. 本多由起子, 前田隆浩, 永田康浩：離島・へき地における産後ケアニーズの実態に関する横断研究. 日本公衆衛生学会総会抄録集 81回: 210, 2022.
14. 清水悠路, 宮田 潤, 本多由起子, 高田 碧, 岡田武夫, 木山昌彦, 前田隆浩, 林田直美：糖尿病と脳下垂体における甲状腺ホルモン感受性の関係. 日本公衆衛生学会総会抄録集 81回: 310, 2022.
15. 円城寺貴浩, 曾山明彦, 福本将之, Li Pelin, 松本 亮, 今村一步, 松島 肇, 原 貴信, 足立智彦, 日高匡章, 濱本 翔, 高島志郎, 前田隆浩, 江口 晋：新型コロナウイルス時代の臓器提供, 臓器移植のありかた ドローンによる摘出臓器搬送の可能性を見据えたシミュレーション実験. 移植 57(総会臨時): 144, 2022.
16. 下河舞子, 露木智久, 山下由恵, 高木博人, 野中文陽, 牟田久美子, 西野友哉：妊娠を契機にプロピルチオウラシルへ変更し発症したPR3-ANCAとMPO-ANCAがともに陽性の急速進行性糸球体腎炎の1例. 日本腎臓学会誌 64(6-W): 737, 2022.
17. 小出明妃, 北山 素, 田中久也, 峯 彩子, 田渕真惟子, 小笠原俊輔, 小笹宗一郎, 赤羽目翔悟, 岡野慎士, 松岡優毅, 濱田航一郎, 山口直之, 中島正洋, 前田隆浩, 中尾一彦：舌の感覚異常と全身倦怠感を主訴とし、診断に難渋したCrohnkhite-Canada症候群の一例. 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集 120回・114回: 178, 2022.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	2	0	2	13

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
前田隆浩・教授	長崎県総合診療専門医養成推進委員会・委員長	長崎県総合診療専門医養成推進委員会
前田隆浩・教授	長崎県地域医療介護総合確保基金（医療分）事業計画検討ワーキンググループ委員会	長崎県医療政策課
前田隆浩・教授	長崎県医師会医療政策・診療報酬等対策協議会	長崎県医師会
前田隆浩・教授	五島市予防接種健康被害調査委員会	五島市
前田隆浩・教授	五島市保健対策推進協議会	五島市
前田隆浩・教授	五島中央病院倫理委員会	五島中央病院
前田隆浩・教授	日本プライマリ・ケア連合学会大学ネットワーク委員会・委員長	日本プライマリ・ケア連合学会
前田隆浩・教授	日本プライマリ・ケア連合学会島嶼及び僻地医療委員会・副委員長	日本プライマリ・ケア連合学会
前田隆浩・教授	日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会・会長	日本プライマリ・ケア連合学会
前田隆浩・教授	日本生理人類学会・評議員	日本生理人類学会
前田隆浩・教授	日本病院総合診療医学会・理事	日本病院総合診療医学会
前田隆浩・教授	全国地域医療教育協議会代表世話人・理事長	全国地域医療教育協議会
前田隆浩・教授	全国医学部長病院長会議地域医療調査実施委員会	全国医学部長病院長会議
野中文陽・助教	長崎県五島中央病院臨床研修管理委員会委員	長崎県五島中央病院
野中文陽・助教	五島市保健所地域・職域連携推進協議会委員	長崎県五島保健所
野中文陽・助教	五島市糖尿病性腎臓病重症化予防事業推進連絡会	五島市国保市民生活部 健康政策課

野中文陽・助教	長崎地域糖尿病療養指導士認定委員会 認定委員、研修委員、地域連携委員	長崎地域糖尿病療養指導士認定委員会
宮田 潤・助教	九州ブロック代議員	日本プライマリ・ケア連合学会
宮田 潤・助教	2022年度家庭医療専門医試験 CSA評価者	日本プライマリ・ケア連合学会
宮田 潤・助教	協議員	長崎県五島中央病院 認知症疾患医療セン ター地域連携協議会

### 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究 題 目
前田隆浩・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「HTLV-1 の分子系統別疾患感受性の解明と層別化コ ホート研究の構築」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「日本人 における性ホルモン・骨代謝回転・骨量間 関連の生理的・遺伝的研究」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「地域枠 出身医師の進路に関するコホート研究とエ ビデンスに基づく政策の提案」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「母子手 帳を活用したカネミ油症の次世代への影響 に対する継続的検討」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「大 規模コホート研究による口腔機能低下症の 新規検査法開発研究」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「口腔健 康状態は生活習慣病や認知機能へ影響する か? : 五島コホート研究」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「医療・ 介護連結ビッグデータによるポリファーマ シーと介護リスクの関連分析」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「多疾患 併存は高齢者の加齢性身体機能低下とどの ような疫学的関連性があるのか」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「甲状腺 の有するエネルギー調整機能の動脈硬化指 標への影響の解明」
前田隆浩・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「Mixed Realityと人工知能で実現する関節リウマチ 遠隔医療システムの構築」
野中文陽・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究「専門医過疎 の解決を目指しIoTとAIで具現化する次世代 の関節リウマチ専門遠隔医療」
野中文陽・助教	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究C「Mixed Realityと人工知能で実現する関節リウマチ 遠隔医療システムの構築」
野中文陽・助教	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究C「オンライ ンでの双方向性連携を活用した県内の医療 施設での糖尿病治療標準化への有効性」
宮田潤・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 研究活動スタート支援 「コホートデータとリアルワールドデータ を用いた生活習慣病等の治療有効性の縦断 的研究」

宮田潤・助教	一般社団法人 医療経済研究・ 社会保険福祉協会 医療経済研 究機構	代表	2022年度（第26回）研究助成 若手研究者育 成研究助成「ロタウイルスワクチンの定期 接種化がワクチン接種人数に与えた影響： 分割時系列解析」
宮田潤・助教	国立研究開発法人科学技術振興 機構 社会技術研究開発セン ター	連携研究 者	SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログ ラム「離島の発達障害児医療におけるアバ ターロボットの活用支援体制の構築」
前田隆浩・教授	マクセル株式会社		磁気センサ型指タッピング装置に関する共同研究

## 特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
前田隆浩・教授	新規ヒト形質細胞様樹状細胞株	2005年8月12日	2012年6月15日	特許第5011520号
野中文陽・助教	遠隔医療システム	2021年8月27日	出願中	特願2021-138779

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関 係 機 関 名
前田隆浩・教授	人体の構造と機能及び疾病(長崎純心大 学)	長崎純心大学

### 新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と 社会との関連
野中文陽・助教	離島患者の手、目の前に 立体画像でオンライン診療	共同通信社	2022年6月	長崎大学関節リウマチ遠隔医 療システムについて説明を 行った
前田隆浩・教授、野 中文陽・助教	遠隔医療システム～通信技 術の高度化で、遠方の患者 様にも充実した医療を～	朝日新聞	2022年5月31日	長崎大学関節リウマチ遠隔医 療システムについて説明を 行った